

2025年度 第15回新人（交流会）ルール

1. 大会ルール

- ・JBA発行の「2025 バスケットボール競技規則(ルールブック)」に準ずるものとします。
- ・JBA公式ホームページよりダウンロード可能ですので、ご確認ください。
競技規則ダウンロード <http://japanbas.jp/referee/ruleketball>

1) 競技時間

- *5分-(1分)-5分-(5分)-5分-(1分)-5分(4Q制)。但しオーブン・混合エントリーの絡む試合については対戦チームと協議の上、3Q制(1-2-4Q 扱い)に変更ができる。
*延長戦は行わない。

2) 出場

- *10人以上で大会エントリーしたチームが、大会当日に10人未満のプレーヤーしか試合に出場できなかった場合、試合は不成立とする。
- *8人もしくは9人で大会エントリーしたチームが、試合当日その人数を満たさなかった場合は大会不成立とする。
- *当日やむを得ない理由にて選手の人数不足が生じた場合、コート主任、相手チームの了承を得ることで男女混合チームでの試合参加することを許可する。

3) 選手交代

- ・第1クオーターから第3クオーターまでの間は、プレーのインターバルとハーフタイムのときのみ交代することができる。
- ・第4クオーターは、次のときにどちらのチームもプレーヤーを交代することができる。
 - ◆ タイムアウトがあったとき
 - ◆ 審判が笛を吹いてゲームクロックが止まったとき
 - ◆ ファウルの後、審判がテーブルオフィシャルに伝達を終えたとき
 - ◆ 最後のフリースローが成功したとき

4) タイムアウト

- ・各クオーターに1回ずつ、45秒間のタイムアウトをとることができる。

5) 24秒ルール(ショットクロック)

- ・ボールを保持するオフェンステームは24秒以内にシュートを打たなくてはいけない。
- ・ボールがリングに触れたあと、それまでボールをコントロールしていたチームが引き続きボールをコントロールしたとき、ショットクロックを14秒にリセットする(14秒リセット採用)。

6) ユニフォーム

- ・シャツとパンツは同じ主となる色でなければならない。
- ・次のものは身に着けても差し支えない。
 - 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
 - 腕や足のコンプレッションスリーブ
 - ヘッドギア
顔の一部(目・鼻・唇等)あるいは全部を覆うものではなく、着用するプレーヤーあるいはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。また顔や首に開閉部を持たず、表面に突起物があつてはならない
 - 膝の装具
 - 負傷した鼻のプロテクター(硬い素材でつくられたものを含む)
 - 無色透明なマウスガード

—眼鏡(ほかのプレーヤーに危険が及ぼないもの)
—リストバンドやヘッドバンド(最大10cmの幅で、繊維素材のもの)
—腕や肩、足などのテーピング。
—足首の装具。
*ユニフォームが不足の場合、類似した物の使用について相手チームの了承を得ること及び TO・審判へ報告することで出場可能とする。

7) 人数

- ・全試合20人まで登録できる
- ・ベンチスタッフは、全試合4人までベンチ入りできる。

8) その他

- ・マンツーマンディフェンスの基準規則に則って行う。
(日本バスケットボール協会 HP 参照)

http://www.japanbasketball.jp/players_development

9) 指導者

- ・ベンチで指揮を執る指導者は、コーチライセンス(JBA公認コーチ)E級以上の取得者とする。
試合中は、登録証を必ず携帯すること。

10) 帯同審判

- 大会参加チームは、必ず審判ライセンス(JBA公認)E級以上の取得者が登録されていること。
また、大会中の割り当てについて帯同審判員として活動する。

2. その他

- ・「チーム表示」を持参する(各チームで試合前に得点板への貼り付け、取り外しを行ってください)。
- ・競技場内での選手のユニフォームの着替えは禁止です。
- ・参加者は全員スポーツ傷害保険に加入しておくこと。

問い合わせ



競技関係(学校行事、会場)	宮澤
審判関係(帯同審判、講習会)	鴨崎
技術関係(コミッショナー)	宮出
総務関係(選手登録、その他)	菅田